

平成19年度バイオ関連予算の概要

平成18年12月
経済産業省

平成19年度経済産業省バイオ関連予算の概要

平成19年度予算額 **221億円**

ポイント

<医療分野におけるイノベーションの創出・加速>

がん対策等の国民医療高度化を目指し、急速に発展している多様なバイオ技術の融合と医療現場への円滑な橋渡しによる、臨床研究の活性化やイノベーションの実現のため、関係省庁と連携して一体的に取り組む。（「イノベーション・スーパーハイウェイ構想」）

○先端医療（がん対策等）技術関連予算 120億円 （98億円） 【対前年度比22%増】
内、経済成長戦略推進要望予算 26億円 （新規）

（基礎研究から応用研究への橋渡し促進技術開発、インテリジェント手術機器研究開発プロジェクト）

概要

健康安心プログラムの推進

145.1億円

- ポストゲノム研究の戦略的推進とイノベーション創出による成果の社会還元
- 健康寿命延伸のための医療福祉機器等の開発及び環境整備。

グリーンバイオプログラムの推進

35.1億円

- 生物機能活用による有用物質生産等のモノ作り技術力の強化。
- 脱石化資源型バイオプロセス技術の確立。

安全管理と国民理解増進のための取組など

40.4億円

経済産業省バイオ関連研究開発プログラムの体系

:新規

健康安心プログラム

グリーンバイオプログラム

健康寿命の延伸、健康関連産業の創出

環境調和・循環型産業システムの実現

基礎研究から臨床研究への橋渡し促進 [19億(新規)]

診断・治療機器

再生医療

診断ツール

創薬

植物機能の活用

微生物機能の活用

インテリジェント手術機器

分子イメージング機器研究開発プロジェクト

次世代DDS型悪性腫瘍治療システム

再生医療評価

個別化医療の実現のための技術融合バイオ診断

創薬加速に向けたタンパク質構造解析基盤

ゲノム創薬加速化支援
バイオ基盤技術開発

新機能抗体創製技術開発

植物機能を活用した高度モノ作り基盤技術開発
・植物エネルギー利用合理化
・工業原料生産技術開発
・植物利用高付加価値物質製造基盤技術

微生物群のデザイン化による高効率型環境バイオ処理技術開発

微生物機能を活用した高度製造基盤技術開発

[7億(新規)] [12億(10億)] [11億(10億)]

[8億(6.5億)]

[4億(6.5億)]

[9億(10億)]

[43.6億(46.5億)]

[1.9億(12億)]

[17億(19億)]

[14億(16億)]

機能性RNA [8.5億(9億)]

糖鎖機能活用技術開発 [12億(12億)]

ポストゲノム分野における我が国の優位性の確保

研究成果の産業化の加速

〔技術開発〕

医療機器開発がトランズナショナル戦略策定 [0.8億(0.8億)]

ゲノム情報統合プロジェクト [5億(5億)]

バイオインダストリー安全対策調査 [0.6億(0.6億)]

カルタヘナ法の施行対策 [0.1億(0.1億)]

遺伝資源へのアクセス促進 [0.1億(0.1億)]

ゲノム情報に基づいた未知微生物遺伝資源ライブラリーの構築 [4.5億(4億)]

〔基盤整備〕